

令和7年度個別学力試験問題

小論文

(福祉健康科学部)

コース名	共通問題	コース別問題	解答時間	配点
理学療法コース	1～2 ページ	3～4ページ	90分	300点
社会福祉実践コース		5～6ページ	90分	300点
心理学コース			60分	100点

理学療法コースは共通問題 **1** と理学療法コースのコース別問題 **2** を解答してください。

社会福祉実践コースは共通問題 **1** と社会福祉実践コースのコース別問題 **3** を解答してください。

心理学コースは共通問題 **1** のみを解答してください。

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入してください。
3. 解答は解答用紙の指定された解答欄に横書きで記入してください。
4. 問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

前期日程(共通問題)

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

関係性に基づくケア

「他人に依存せずに一人で生きていけること」というのは、自立のように見えて、社会的孤立に繋がりがねないと思っています。他者に頼らず全部を一人で抱え込むことでもあるからです。

「一人で生きていく」のは、心身にエネルギーがみなぎっていて、一定程度の経済的基盤があれば、他者に遠慮せずに済むし、自分勝手にできる、という意味で、楽でもあります。そういう意味では、自己利益の最大化、にもつながるのかもしれませんが。なるべく依存を減らしても生きていけるよう、頑張ってリスク管理をしておられる方も、いるかもしれません。

でも、新型コロナウイルスにかかる、地震や豪雨災害の被害を受ける、事故に遭うなどは、自己管理だけでは防ぎようのないことです。そういう時には、自分の身の安全を確保した上で、他の人のためにできる事を、できる範囲でする。皆さんもそういう経験をお持ちだと思います。それは、社会的孤立とは反対の、身近な周囲からの連帯だと思うのです。

(中略)

私自身を振り返ってみると、子どもが生まれる前までは、これらのことを全く意識していませんでした。自分が努力した結果得られた成果も、できなかったことも、自己責任だと思い込んでいました。

(中略)

しかし、その時の私に大切な別の価値観を教えてくれたのは、他ならぬ赤ちゃんの娘でした。彼女のニーズを満たすためには、泣いているときに、お腹がすいているのか、眠たいのか、しんどいのか、退屈なのか……を見極める必要があります。それは、彼女との関係性を深めない、できないことです。

(中略)

私は娘がすくすく育つようにケアをしてニーズを支える一方で、娘を通じて私はケアの面白さを教わり、娘を通じて父として生きる醍醐味を教わった。そういう意味で、互いが互いを必要とする関係性であり、この相互依存的な関係性こそが、ケアの醍醐味だと思うのです。

(中略)

切り分けるのではなく、分かち合う責任

(中略)

私は子どもが生まれる以前は、ずいぶん長い間、「消費者マインド」に毒されてきました。またの名を「お客様は神様です」という考え方です。お金を払って購入するのだから、文句を言うのも値切るのも、やってもらうのも当たり前、というあの発想です。この「消費者マインド」は相互依存的な関係性の対極にあると思っています。

確かにお金を払うという契約関係に基づけば、払った金額分の対価をできる限り沢山獲得したいという論理が働きます。最近「カスタマーハラスメント」という用語も出回っていますが、店の従業員に対して怒鳴りつける客は、カネを払ったのだから俺に従え、という意味で、支配—服従の論理を店員に押しつけている、と言えます。すると、能力主義や自己責任論への強迫的な信奉は、服従したり下の側に追いやられる恐怖であり、どうせなら上から支配する側になりたい、という黒々とした欲望のようにも、思えます。

でも、ケアの世界は、この消費者マインドではなんともなりません。ケア対象の娘の心は、お金では買収できません。彼女からお金をもらってケアをするわけではないし、ケア関係について契約書を交わしたわけではないので、何を、どれくらい、いつまでにするのかは、娘や妻との同意に基づいて決めます。彼女に怒鳴り続けたら、彼女は間違いなくトラウマを抱えるし、心は私から離れていきます。逆もまた真なりです。

私がこれまで述べてきた相互依存的な関係性とは、端的に言えば、「共に考え合いながら〇〇する」関係性だと思っています。お互いの想いを理解し、お互いの都合や事情も分かち合った上で、ではどうしたらよいか、を一緒に探る、という姿勢です。

(中略)

この時、例えば妻や私、娘のうちの誰かの自己犠牲で成り立つ関係は、「共に考え合いながら〇〇する」関係性にはなりません。例えば今日は父の趣味に付き合う、ということがあっても、先週は娘の、来週は母の都合に合わせる、という感じで帳尻を合わせることになります。大切なのは、ケアし合うチームメンバーみんなが共に考え合いながら、ともに豊かな時間を過ごしていく。そういう関係性を作って行くことだと思います。それが、懲罰としての自己責任ではなく、あなたに承認された私が引き受ける積極的で肯定的な責任であるとも思うのです。

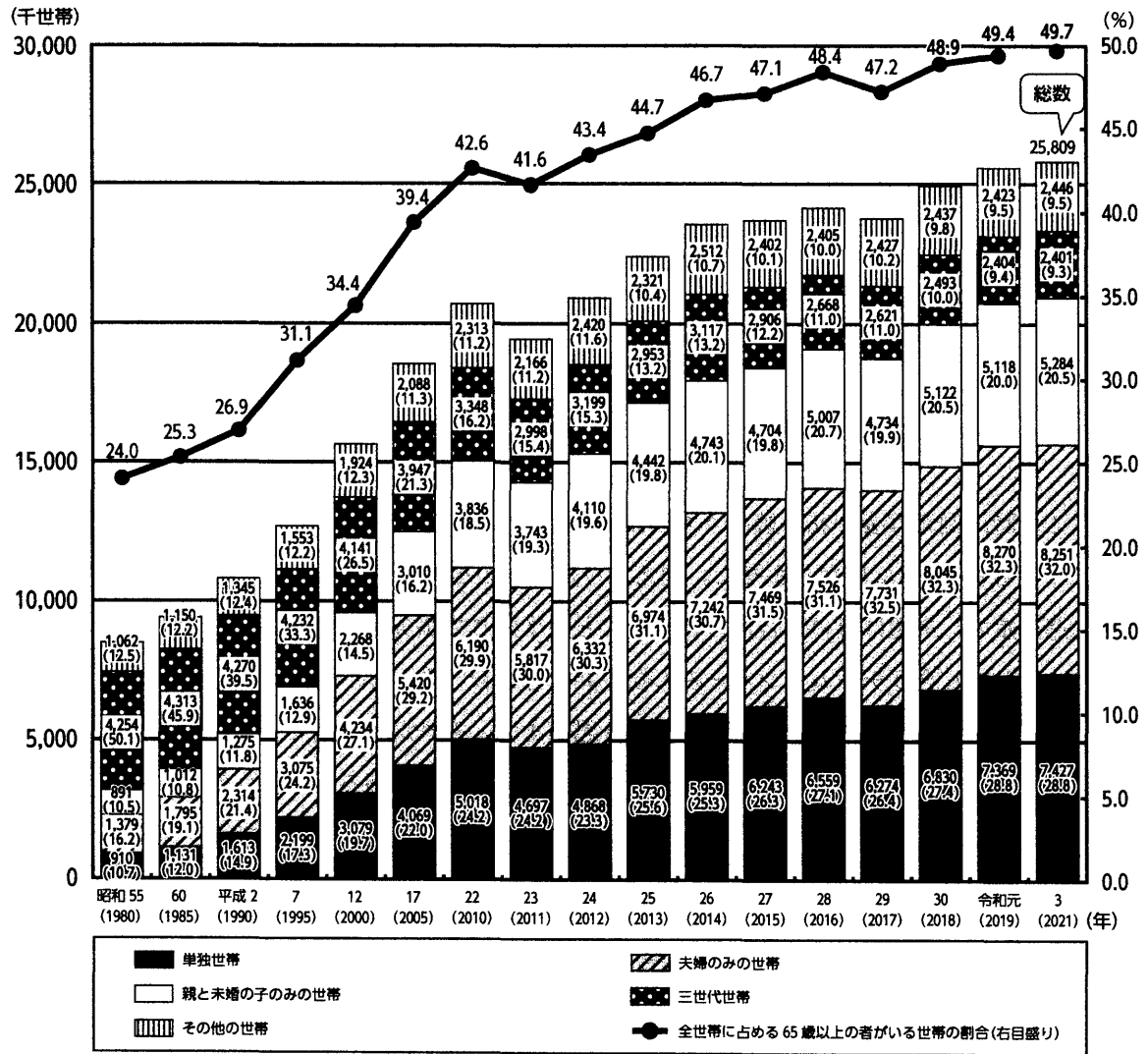
甲と乙を契約関係で切り分ける時、部分的な責任関係が生まれます。でも、家族の同意からはじまるケア関係は、部分的ではありません。ケアする側とされる側が、楽しさも苦しさも、面倒くささも喜びも、オモロさもつまんなさも、そのものとしてシェアする関係性が前提になっています。そして、そういう「共に考え合いながら〇〇する」相互依存的な関係性を通じて、関わる^{すべて}の人が、人間的に開かれ、成熟していくのだとも思います。

(出典：竹端寛、『ケアしケアされ、生きていく』、(ちくまプリマー新書；438)、筑摩書房、2023年より抜粋)

問 著者の考える「相互依存的な関係性」について説明し、対人援助職として求められる援助者と被援助者との関係性の在り方について、あなたの考えを600字以内(句読点を含む)で述べなさい。

理学療法コース(コース別問題)

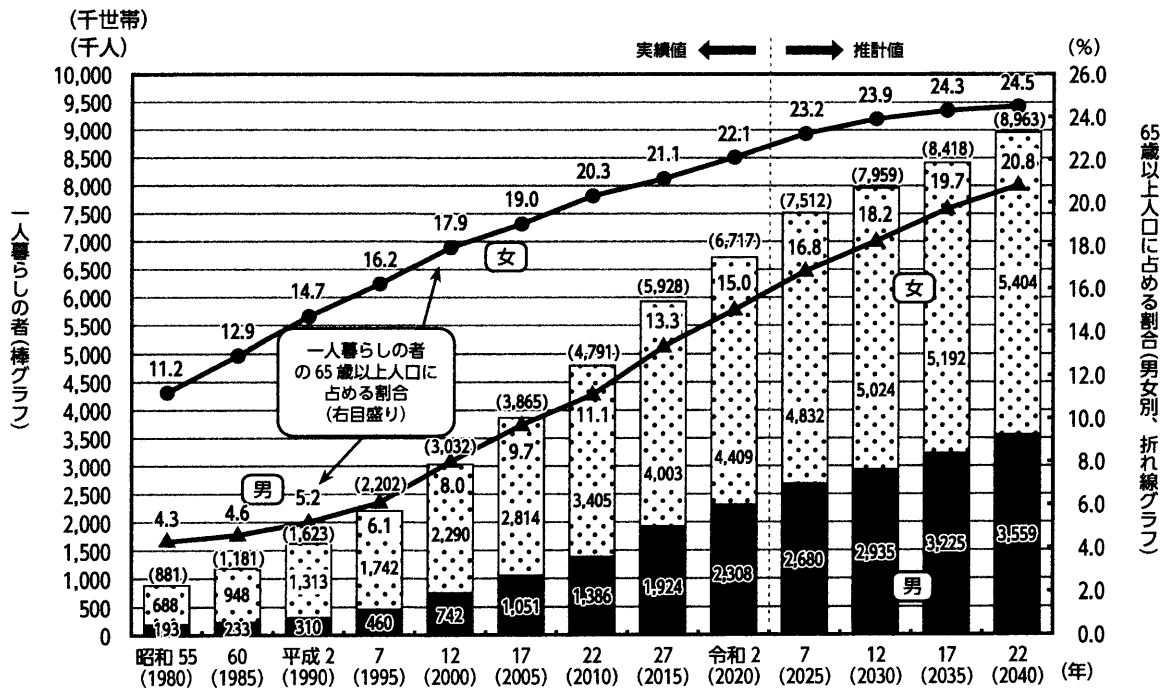
2 図1, 2を総合的に読み解き概説しなさい。また, 図1, 2をもとに, 高齢社会における問題点とその改善案について, あなたの考えを500字以内(句読点を含む)で述べなさい。



資料：昭和60年以前の数値は厚生省「厚生行政基礎調査」、昭和61年以降の数値は厚生労働省「国民生活基礎調査」による。
 (注1) 平成7年の数値は兵庫県を除いたもの、平成23年の数値は岩手県、宮城県及び福島県を除いたもの、平成24年の数値は福島県を除いたもの、平成28年の数値は熊本県を除いたものである。
 (注2) ()内の数字は、65歳以上の者のいる世帯総数に占める割合(%)
 (注3) 四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。
 (注4) 令和2年は調査中止

図1 65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合(世帯構造別)と
 全世帯に占める65歳以上の者がいる世帯の割合

(出典：内閣府、『令和5年版高齢社会白書(全体版)―第1章 高齢化の状況―』, 2023年)



資料：令和2年までは総務省「国勢調査」による人数、令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）」（2018（平成30）年推計）による世帯数
 （注1）「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」又は「一般世帯（1人）」のことを指す。
 （注2）棒グラフ上の（ ）内は65歳以上の一人暮らしの者の男女計
 （注3）四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

図2 65歳以上の一人暮らしの者の動向

（出典：内閣府、『令和5年版高齢社会白書（全体版）—第1章 高齢化の状況—』，2023年）

社会福祉実践コース(コース別問題)

3 次に示す資料は、日本の自殺者数の推移(図1)、G7各国の自殺死亡率(図2)を示したものである。この資料から、「自殺に関する日本の状況と課題」を整理したうえで、日本の自殺を減少させるためにどのような対策を講じるとよいか、自身の考え(アイデア)を、その理由も踏まえて500字以内(句読点を含む)で述べなさい。

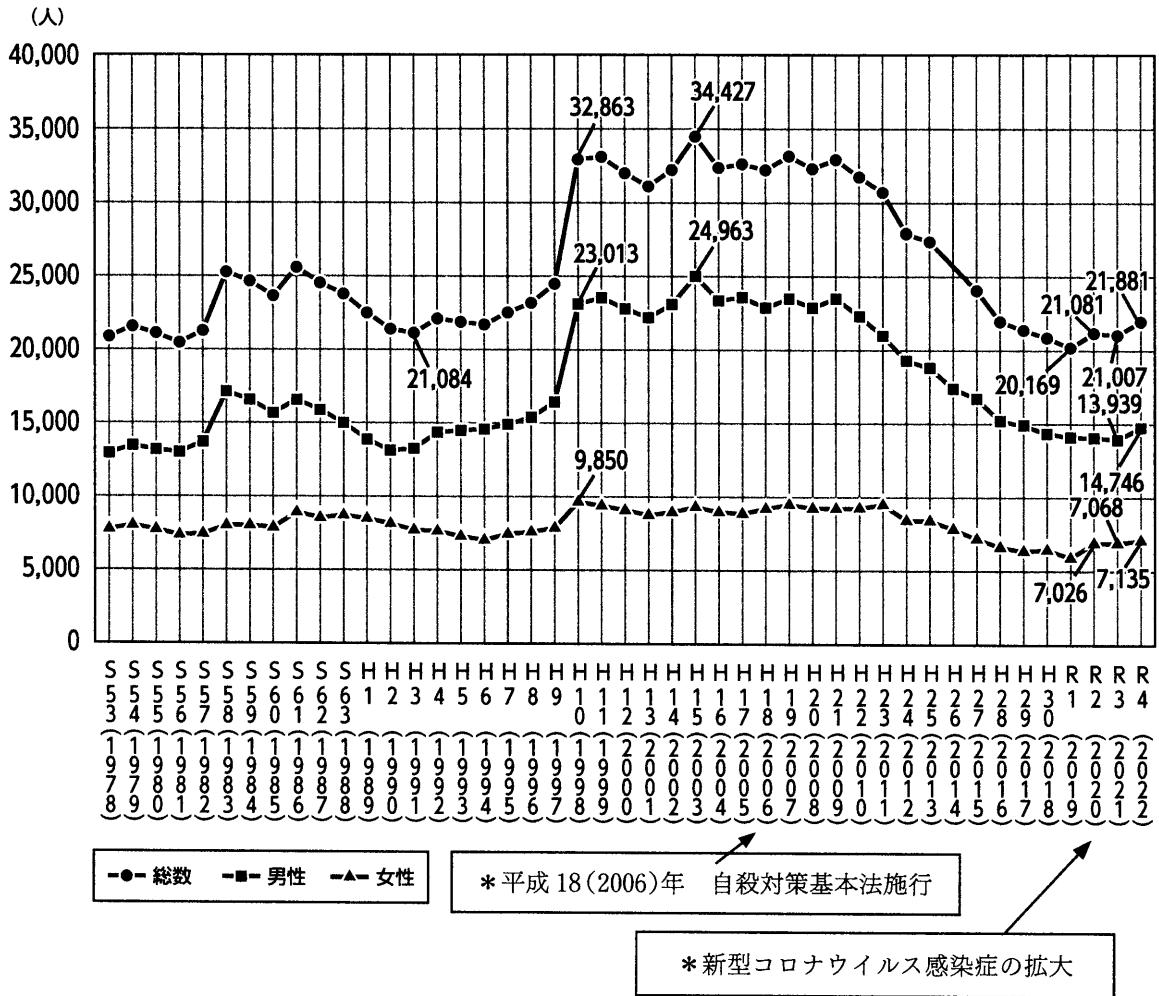


図1 自殺者数の推移(自殺統計)

注) * は出題者が加筆したものである。

(出典：厚生労働省、『令和5年版自殺対策白書。自殺統計でみた自殺者数の年次推移』、2023年より抜粋、一部改変 <https://www.mhlw.go.jp/content/r5hs-1-1-01.pdf> 2024/7/31)

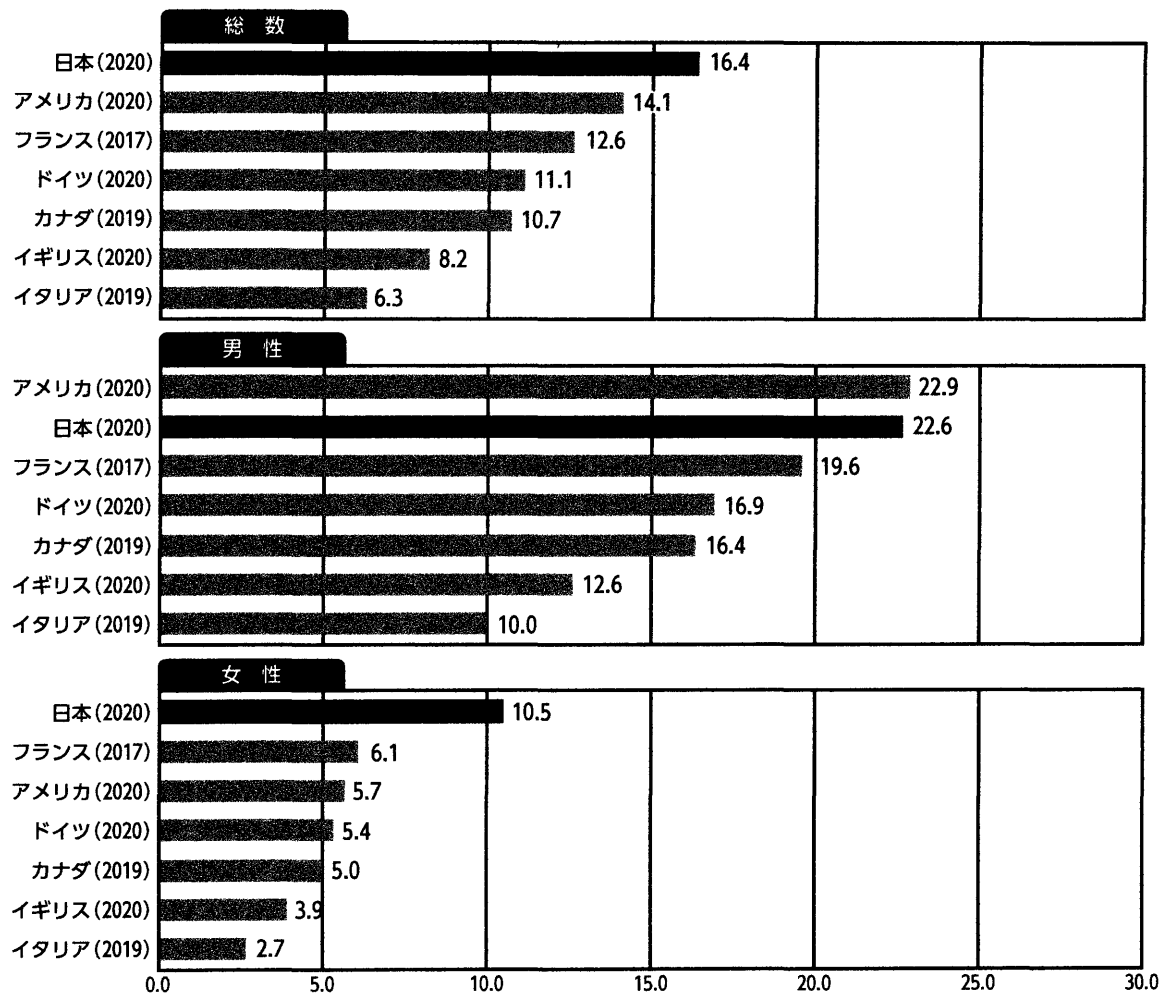


図2 G7各国の自殺死亡率

(出典：厚生労働省、『令和5年版自殺対策白書。海外の自殺の状況』，
2023年より抜粋 <https://www.mhlw.go.jp/content/r5hs-1-1-07.pdf> 2024/7/31)